

生誕90年 澤田哲郎展



「春の雫」(部分) 1963(昭和38) 油絵/紙に貼 94.0×167.0cm(二部) 個人蔵

■会期・会場

平成22年3月12日(金)～22日(月・祝)

開館時間：午前10時～午後5時 ※3月15日(月)は休館

盛岡市民文化ホール・展示ホール マリオス4階

020-0045 盛岡市盛岡駅西通二丁目9番1号 電話：019-621-5100

平成22年3月1日(月)～28日(日)

開館時間：午前10時～午後6時 ※3月9日(火)は休館

もりおか啄木・賢治青春館(サムホール作品展示)

020-0871 盛岡市中ノ橋通一丁目1番25号 電話：019-604-8900

■入場無料

■主催：文化庁・澤田哲郎生誕90年展実行委員会

■共催：盛岡市・盛岡市教育委員会・(財)盛岡観光コンベンション協会・(財)盛岡市文化振興事業団

■問合せ：020-0045 盛岡市盛岡駅西通二丁目9番1号 マリオス5階
(財)盛岡市文化振興事業団 内「澤田哲郎生誕90年展実行委員会」事務局
電話：019-621-5102 FAX：019-621-5101



「作品」2000(平成12) 油絵/キャンバス 90.5×130.0cm 個人蔵

「主人を失った犬」1961(昭和36) 油絵/キャンバス
112.1×145.5cm 盛岡市蔵

盛岡・シベリア・東京・アメリカ

「新宿 - 広告のある町」
1987(昭和62)
水素画と油絵 31.1×40.5cm
山形県立美術館蔵

生誕90年 澤田哲郎展

| 盛岡・シベリア・東京・アメリカ |



「これない(屏風)」1963(昭38) 油彩/和紙 90.0×175.0cm(四曲) 個人蔵

盛岡市出身の洋画家・澤田哲郎(1919-86)は2009年に生誕90年を迎えました。今展では、生誕90年を記念し、初期から晩年までの作品を県内外の美術館や収集家などからも集めて、盛岡・シベリア・東京・アメリカの各時代を通して、その画業を、盛岡市民文化ホール、もりおか啄木・賢治青春館(サムホール展示)を会場に広く紹介します。

澤田哲郎は、1919年に盛岡市神子田に生まれ、旧制盛岡中学から黒沢尻中学を経て、画家を志し上京、川端画学校に学びました。中学時代より師事した画家・藤田嗣治をオヤジと呼び慕い、その徹底した芸術家根性の教えを受けながら、作品を二科会、春陽会にと出品しましたが、その後は無所属を通して作家活動を続けました。戦前・戦後の初期の具象作品時代は、貧しい人々やシベリア抑留時代の生活情景を描き、そしてその後の抽象時代では国内やニューヨークで絶賛された油彩・墨象による作品を制作しました。更に晩年には、「絵かきは生涯職人である」を持論として「三万マイ」を制作目標に、サムホールの油彩による諧謔的な小品群を日記のように描き続け1986年に他界しました。市民文化ホールでは、大作を含めた初期から晩年作までを、もりおか啄木・賢治青春館では、晩年日記のように描き続けたサムホールによる作品世界を展示します。

◆澤田哲郎 略年譜

- 1919(大8) 5月21日、岩手県盛岡市神子田で生まれる
- 1936(昭11) 詩人・加藤健の紹介により、藤田嗣治に師事
- 1938(昭13) 上京、文化学院、川端画学校に学ぶ
第25回二科会展初出品、初入選以後出品を続ける
- 1941(昭16) 第1回岩手県美術連盟東京展、盛岡展に出品
- 1942(昭17) 第29回二科会展に出品会友推挙
盛岡・川徳で松本竣介、舟越保武と三人展
- 1945(昭20) 応召、終戦後シベリア抑留
- 1947(昭22) シベリア抑留から帰還後、シベリア抑留生活を題材に作品制作
- 1952(昭27) 第37回二科会展で特待賞受賞
- 1953(昭28) 第38回二科会展で二度目の会友推挙
- 1957(昭32) 第34回春陽会展で春陽会賞受賞
第1回安井賞候補新人展招待出品
- 1963(昭38) ニューヨークに滞在し制作活動
- 1964(昭39) 第6回現代日本美術展招待出品
- 1969(昭44) ふたたびニューヨークで制作活動
- 1982(昭57) 第36回岩手芸術祭美術展洋画部門審査員
- 1986(昭61) 5月18日、逝去 故郷の盛岡・大慈寺に眠る



「ときつ」1950(昭25) 油彩/キャンバス 16.0×23.0cm
高松五郎記念美術館蔵



「立てる女」1953(昭28)
油彩/キャンバス(サムホール)
個人蔵



「作品」油彩/和紙 60.0×88.0cm
盛岡市立美術館蔵



「雨のランデブー」
油彩/和紙 88.0×58.5cm
個人蔵



「岩手公園の池」中学時代、油彩/キャンバス 90.9×116.7cm
岩手県立美術館蔵



「作品」1962(昭37) 油彩/キャンバス
97.0×130.5cm 盛岡市蔵



「作品」1960年代、油彩/キャンバス
97.0×130.0cm 盛岡市蔵